

祝 令和7年 二十歳の集い

晴天に恵まれた1月2日、窪川四万十会館で「令和7年四万十町二十歳の集い」が挙行され、今年は115名の皆さんが式典に参加しました。



特集

新たな門出を共に祝う!

2025 二十歳の集い

congratulations on the coming of age!

多くの感謝と決意を胸に集う

華やかな振り袖や真新しいスーツに身を包んだ二十歳の皆さん。懐かしい顔を見つけては、「久しぶり!」「誰か分からなかったやん!」と、同級生との再会を楽しむ声が聞こえてきます。

式典では、中尾博憲町長が、「地方創生という取り組みの中で、多くの若者が定住し、地域の産業を担い、この町が力強く持続的に発展するよう、共に努めていきましょう」と激励。

続いて参加者を代表して山川瑠菜さんが「大人としての自覚を持ち、責任ある社会人として歩んでいきたい」と謝辞を述べました。

式典の後、実行委員の皆さんによる記念アトラクションが行われ、式典では少し緊張気味だった参加者も、懐かしの恩師からのビデオレターや豪華賞品が当たるビンゴ大会が始まると、緊張もほぐれ友人と共に楽しんでいました。

実行委員の皆さんに

二十歳の思いを聞きました!

Q1 将来の夢を書いてください。

Q2 二十歳になって気付いた四万十町の好きなところ?

Q3 もし「四万十町長になったらどんな町にする?」

武吉 愛斗さん
(窪川小出身)

Q2 人が優しい。

Q3 優しさがあふれる町。

山脇 羽夏さん
(田野々小出身)

Q2 人が温かい。

Q3 みんなが笑顔で楽しく暮らせる町。

芝 音央さん
(昭和小出身)

Q2 人が元氣。

Q3 みんなが安心して暮らせる町。

山川 瑠菜さん
(田野々小出身)

Q2 自然が豊か。

Q3 特産物を使ったお店を増やす。

芝 海人さん
(田野々小出身)

Q2 地酒がおいしい。

Q3 テーマパークをたくさん造る。

